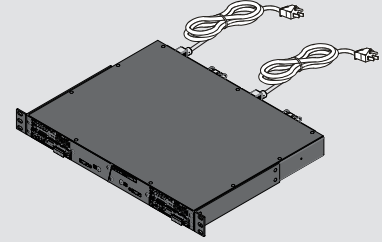


AnyWire DB A40/A20シリーズ

ゲートサーバ

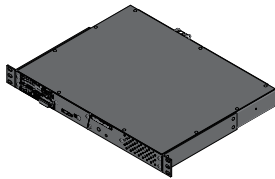
AG452-G□-PS□□

1Uラックマウントタイプ

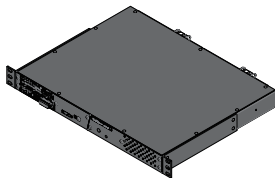


この AnyWire System Products Guide は個別製品について記載しています。内容をお読みの上ご理解ください。

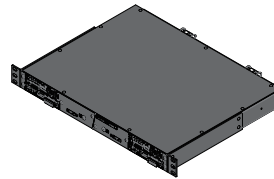
【型式】



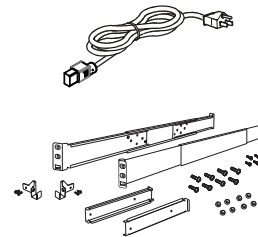
- ・製品型式: AG452-G1-PS
- マスタ機能: シングル
- 省配線電源: シングル
- 電源: AC100-240V入力



- ・製品型式: AG452-G1-PSDX
- マスタ機能: シングル
- 省配線電源: ダブル
- (電源リダント接続)
- 電源: AC100-240V入力



- ・製品型式: AG452-G2-PSDX
- マスタ機能: ダブル
- 省配線電源: ダブル
- (電源リダント接続)
- 電源: AC100-240V入力



- ・製品型式: A452-AC100
AC100Vコード(接地端子付)
- ・製品型式: A452-AC200
AC200Vコード(接地端子付)
- ・製品型式: A452-R2
1U用レール(2本入り)

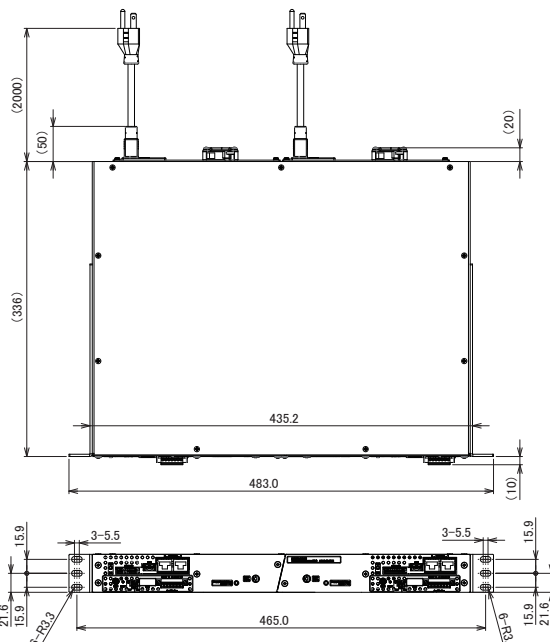
【特長】

- ・AnyWire DB A40/A20シリーズに対応。
- ・電源デュアルタイプで信頼性の高い冗長化が可能。
- ・省配線マスタユニット1系統と2系統が選択できます。
- ・電源内蔵タイプは、サーキットプロテクタによる保護を搭載。
- ・省スペース1Uハーフタイプ。

【外形寸法】

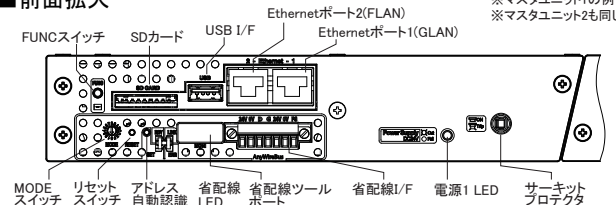
※AG452-G2-PSDXの例(ACコードは付属していません)

[単位: mm]



【各部の詳細】

■前面拡大



※マスタユニット1の例
※マスタユニット2も同じ

■前面

MODEスイッチ1

設定	仕様
0	DB A40 7.8kHz/1km
1	DB A40 15.6kHz/500m
2	DB A40 31.3kHz/200m
3	DB A40 62.5kHz/100m
4~7	設定不可
8	DB A20ビットモード 2kHz/3km
9	DB A20ビットモード 7.8kHz/1km
A	DB A20ビットモード 31.3kHz/200m
B	DB A20ビットモード 125kHz/50m

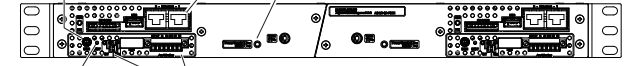
電源・伝送コネクタ



24V 0V D G 24V 0V FG

設定	仕様	LED	色	内容	電源	LED	色	内容
LINK	E	橙	Ethernet	リンク	Power	LED	緑	電源
ACT	F	緑	Ethernet	データ送受信	Supply	LED	緑	電源

前面



押釦スイッチ1

押釦	内容
RESET	再起動
SET	アドレス自動認識 & ステータス

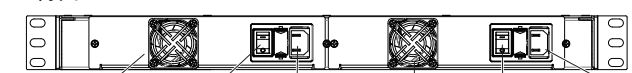
省配線状態表示LED1

LED	色	内容
SET	橙	Anywireアドレス自動認識
LINK	緑	Anywireリンク(点滅正常)
RDY	緑	Anywire Readyステータス
ERR	赤	Anywire異常

省配線I/F1

ピン	信号	内容
1	24V	省配線ラインで使用するDC24V電源出力用の端子です。 注意: 本例に電源供給をするための端子はありません。
2	0V	
3	D	伝送線+
4	G	伝送線-
5	FG	フレームグラウンド

■背面



電源ユニット2 CPロッカースイッチ AC電源入力 電源ユニット1 CPロッカースイッチ AC電源入力

step 1 梱包物の確認

- 本体.....1台
- M5ネジ.....4個
- ワッシャ.....4個
- ケージナット.....4個
- プロダクトガイド(本書).....1枚



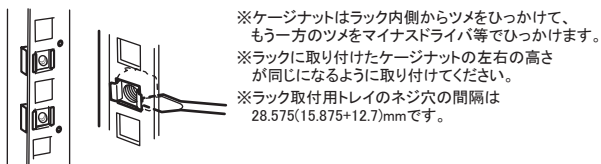
step 2 設置

ご注意ください

- ・取り付けの前に、以下の点にご注意してください。
- ・ラックの説明書をよく読み、転倒しないよう十分気をつけてください。
- ・本機の上には物を載せないでください。
- ・本機は精密機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行ってください。
- ・本機は約7kgの重量があります。落としてけがをすることがないように慎重に作業を行ってください。
- ・金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行ってください。
- ・「安全にお使いいただくために必ずお守りください」の指示に必ずしたがってください。
- ・本機の動作中に周辺環境が、温度0~+50°C、湿度10~90%を保てる場所に設置してください。
- ・本機前面および背面は通風孔になっています。障害物などでふさがないようにご注意ください。

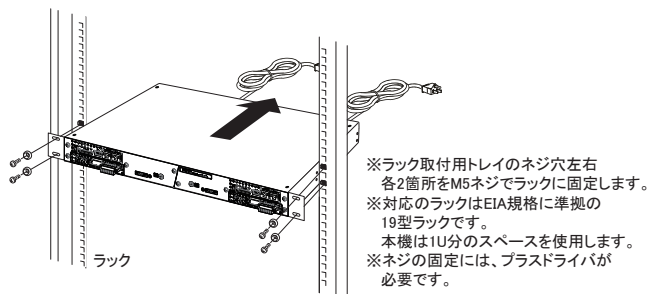
直接ラックに取り付ける方法

- 1 本機は19インチラックに取り付けることができます。付属のケージナットをラックの取り付け穴(左右)に取り付けます。



※ケージナットはラック内側からツメをひっかけて、もう一方のツメをマイナスドライバ等でひっかけます。
 ※ラックに取り付けたケージナットの左右の高さが同じになるように取り付けしてください。
 ※ラック取付用トレイのネジ穴の間隔は28.575(15.875+12.7)mmです。

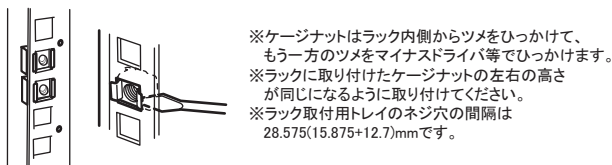
- 2 ラック取付用トレイを、付属のM5ネジでラックに固定します。



※ラック取付用トレイのネジ穴左右各2箇所をM5ネジでラックに固定します。
 ※対応のラックはEIA規格に準拠の19型ラックです。本機は1U分のスペースを使用します。
 ※ネジの固定には、プラスドライバが必要です。

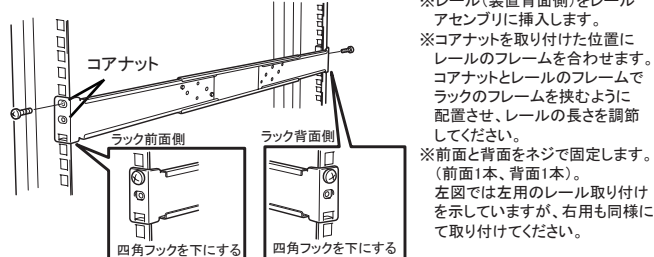
レール(オプション)を使用して取り付けする方法

- 1 本機は19インチラックに取り付けることができます。付属のケージナットをラックの取り付け穴(左右)に取り付けます。



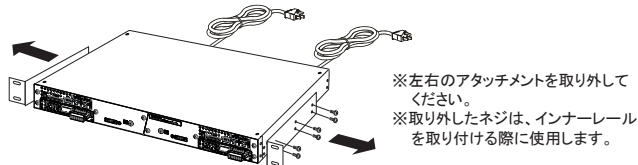
※ケージナットはラック内側からツメをひっかけて、もう一方のツメをマイナスドライバ等でひっかけます。
 ※ラックに取り付けたケージナットの左右の高さが同じになるように取り付けしてください。
 ※ラック取付用トレイのネジ穴の間隔は28.575(15.875+12.7)mmです。

- 2 レールをラックに固定します。



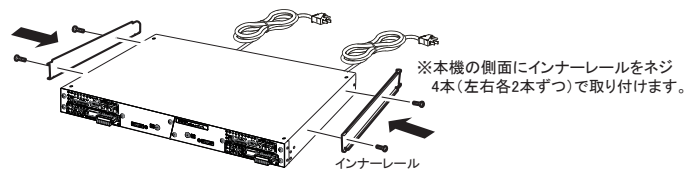
※レール(装置背面側)をレールアセンブリに挿入します。
 ※コアナットを取り付けた位置にレールのフレームを合わせます。コアナットとレールのフレームでラックのフレームを挟むように配置させ、レールの長さを調節してください。
 ※前面と背面をネジで固定します。(前面1本、背面1本)。左図では左用のレール取り付けを示していますが、右用も同様に取り付けてください。

- 3 ラック取付用アタッチメントを、取り外します。



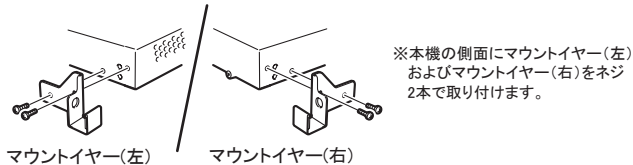
※左右のアタッチメントを取り外してください。
 ※取り外したネジは、インナーレールを取り付ける際に使用します。

- 4 インナーレールを取り付けます。



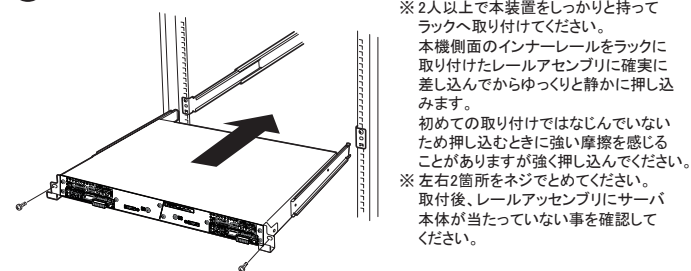
※本機の側面にインナーレールをネジ4本(左右各2本ずつ)で取り付けます。

- 5 マウントイヤーを取り付けます。



※本機の側面にマウントイヤー(左)およびマウントイヤー(右)をネジ2本で取り付けます。

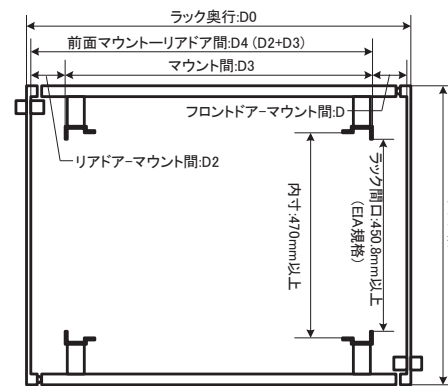
- 6 本機ラックに固定します。



※2人以上で本装置をしっかり持ってラックへ取り付けてください。本機側面のインナーレールをラックに取り付けたレールアセンブリに確実に差し込んでからゆっくりと静かに押し込みます。初めての取り付けではなじんでいないため押し込むときに強い摩擦を感じるがありますが強く押し込んでください。
 ※左右2箇所をネジでとめてください。取付後、レールアセンブリにサーバ本体が当たっていない事を確認してください。

取り付け可能なラック

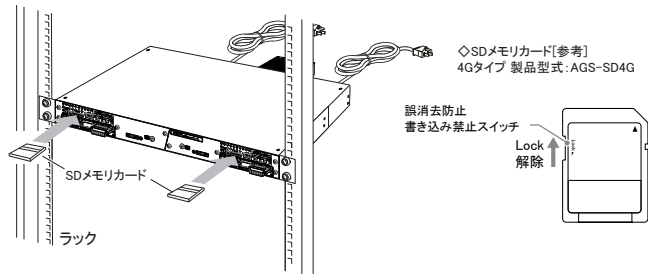
◆EIA規格の19インチラックで、下記形状を満たすこと。



搭載方式	ラック寸法(mm)					
	W	D0	D1	D2	D3	D4
前後搭載	700以上	900以上	45以上	45以上	620~810	-
前面搭載	700以上	665以上	45以上	-	620~810	-

step 3 セットアップ

- 1 本機にSDメモ리카ードを取り付けます。SDメモ리카ードは、オプションとなります。



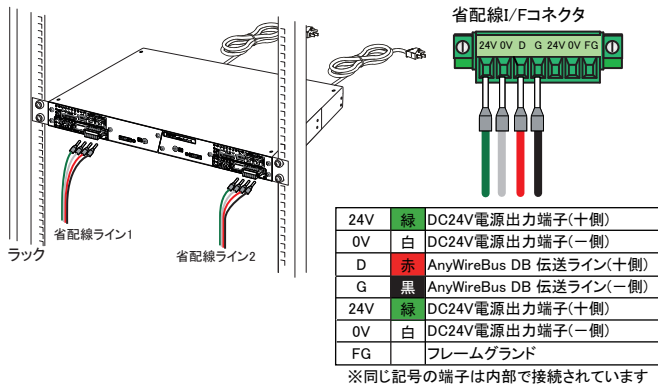
注意 電源投入中にSDメモ리카ードを抜き差ししないでください。本機とSDメモ리카ードの故障の原因となります。

SDメモ리카ード使用についての目安

- ◆1秒データを1秒毎に512系列のデータを書き込んだ場合
 1日のデータ容量は、約400MBを使用します。
 4GBフラッシュメモリを使用した場合 4096MB÷400MB ≒10日分保管可能
- ◆60秒データを60秒毎にまとめて512系列のデータを書き込んだ場合
 1日のデータ容量は、約7MBを使用します。
 4GBフラッシュメモリを使用した場合 4096MB÷7MB ≒585日分保管可能

注意 あくまでも目安になります。お客様の使用条件により異なります。また交換の場合FTPツールなのでデータのバックアップを取ってから作業してください。なお、フラッシュメモリの交換は、本機の電源を切ってから取り外してください。

2 省配線インターフェースの接続を行います。



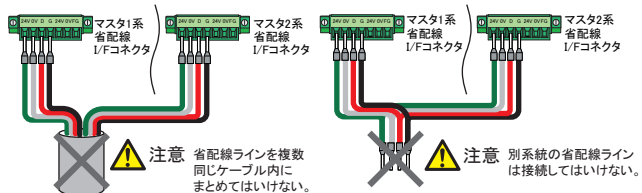
省配線I/Fコネクタ接続

本機は省配線用DC24V電源を内部に搭載しています。24Vと0Vは電源出力ポートとなります。省配線ラインで使用する場合以下の仕様お使いください。

製品型式	省配線ライン最大電源容量
・AG452-G1-PS	90[W]、3.75[A]
・AG452-G1-PSDX	90[W]、3.75[A]
・AG452-G2-PSDX	45[W]、1.85[A]

省配線ラインの配線について

- ・省配線ケーブルはAnyWireシステム1系統1本としてください。2系統以上まとめないでください。
- ・専用フラットケーブル(FK4-075-100)は、伝送ラインが200m以内の場合まで使用可能です。200mを超える場合 線径(公称断面積)0.9mm²以上のケーブルをご使用ください。
- ・伝送ラインが200m以上の場合、電源電圧の下限を24V以下にしないでください。
- ・ケーブルによる電圧降下にご注意ください。電圧降下は機器誤動作の原因となります。
- ・省配線I/Fの24V-0V端子間通過電流は5A以内としてください。



3 前面のMODEスイッチで、省配線の伝送モードと速度を選択します。

MODEスイッチ	仕様
0	DB A40 7.8kHz/1km
1	DB A40 15.6kHz/500m
2	DB A40 31.3kHz/200m
3	DB A40 62.5kHz/100m
4~7	設定不可
8	DB A20ビットモード 2kHz/3km
9	DB A20ビットモード 7.8kHz/1km
A	DB A20ビットモード 31.3kHz/200m
B	DB A20ビットモード 125kHz/50m
C	DB A20ワードモード 2kHz/3km
D	DB A20ワードモード 7.8kHz/1km
E	DB A20ワードモード 31.3kHz/200m
F	DB A20ワードモード 125kHz/50m

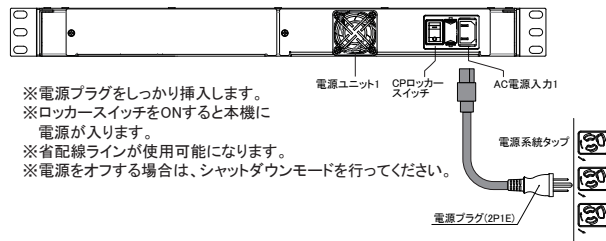
注意 省配線ラインに接続される各種リモートユニットの伝送モードと伝送速度があっているか確認して設定してください。設定を誤ると誤動作します。

4 本機に電源を入れます。製品タイプにより異なります。

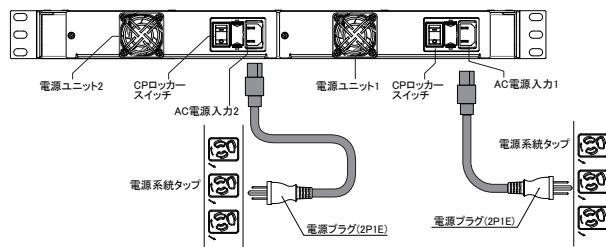
電源をオフする場合の操作 [シャットダウンモード]

注意 ゲートサーバの電源をオフする場合、シャットダウンモードでシャットダウンをしてください。シャットダウンモードを行わずに電源を切る場合、データが欠落する恐れがあります。ただし異常と思われる場合は、すぐ電源をおとしてください。

◆AG452-G1-PS

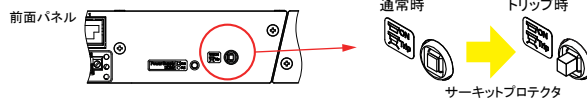


◆AG452-G1-PSDX, A452-G2-PSDX



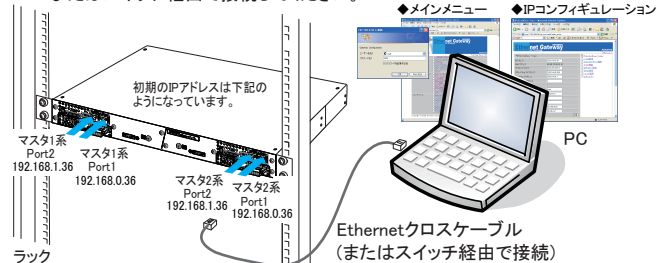
DC24V電源ラインのトリップについて

◆短絡などの発生による事故防止のため、サーキットプロテクタが内蔵されています。トリップ時には飛び出して電源を遮断します。



step 4 ネットワーク設定

1 ネットワーク設定、各ポートのIPアドレスを設定します。パソコンEthernetポートとコンセントサーバのEthernetポートをクロスケーブルまたはスイッチ経由で接続してください。



2 パソコン上でウェブブラウザを起動します。ブラウザのアドレスタブに「http://192.168.0.36」と入力します。デフォルトのユーザ名とパスワードは「root」になっています。

IPアドレス設定について

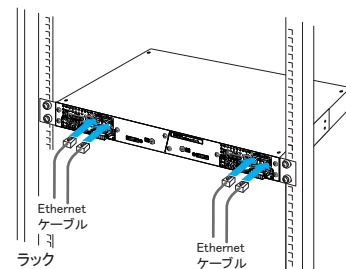
◆ウェブブラウザを使用してください
Port1を設定する場合、ウェブブラウザのアドレスタブに「http://192.168.0.36」と入力します。ユーザ名とパスワードを聞かれたらユーザ名「root」、パスワード「root」と入力します。メインメニューが表示されたら「システム」ネットワーク設定で設定できます。IPアドレスは、電源再起動後に有効になります。

注意 IPアドレス設定は、ネットワーク技術者の指示のもとに変更してください。ポート1とポート2を同じネットワークアドレスでしないでください。

シャットダウンモードの操作手順

注意 手順-1 前面の赤いFUNC SWをFUNCLEDが点滅するまで押し続けます。
手順-2 点滅を確認したらすぐにFUNC SWをからを離します
手順-3 FUNCLEDの点滅が早くなります。
手順-4 点滅が消灯後、READYランプが消えます。
手順-5 約1分ほど待ってから電源をオフします。

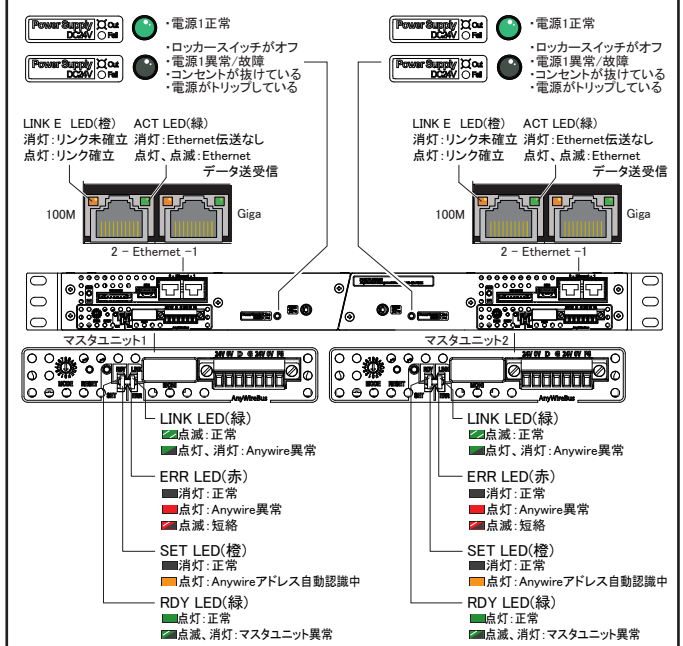
3 本機のIPアドレスがすべて完了したら、Ethernetケーブルを接続します。



オプション & アクセサリ

品名	製品型式	標準価格
省配線用4芯フラットケーブル (100m巻)	FK4-075-100	オープン
4芯フラットケーブル用LPコネクタ (10個入り)	LP4-BK-10P	オープン
通信設定用ケーブル(RS-232C)	CA-PCRM-15C	オープン
AC100V用電源コード(1本)	A452-AC100	オープン
AC200V用電源コード(1本)	A452-AC200	オープン
19インチラック取付レール	A452-R2	オープン
SDメモ리카ード(インタストリ仕様) ・4Gタイプ	AGS-SD4G	オープン

トラブルシューティング



1 AnyWireラインのトラブル

まず次のことを確認してください。

- ①マスタユニットの「RDY」ランプが点灯していること。
- ②すべてのリモートユニット(コンセントサーバ等)の「RDY」ランプが点灯していること。
- ③マスタユニットの「LINK」ランプが点滅していること。
- ④すべてのリモートユニット(コンセントサーバ等)の「LINK」ランプが点滅していること。
- ⑤すべてのユニットの電源電圧が21.6~27.6Vの範囲にあること。
- ⑥配線、接続が確実であること。
- ⑦リモートユニット(コンセントサーバ等)のアドレス設定が正確であること、重複していないこと。

(表示部分については、1ページ「LED表示」を参照してください。)

あわせて、弊社作成のテクニカルマニュアルをご覧ください。

症状	チェック項目
データの出入力ができない	ゲートサーバユニット側 AnyWireBus-DB伝送線の接続が正しいか 伝送仕様(MODEスイッチの設定)がリモートユニット側と一致しているか ----- リモートユニット側(コンセントサーバ等) リモートユニットに電源が供給されているか リモートユニットのアドレスは正しく設定されているか
マスタユニット ERR LED(赤)が点灯 RDY LED(緑)が消灯	D、Gラインが断線していないか アドレス自動認識を正しくおこなったか 端子台のビスがゆるんでいないか * 検出状態は保持します。リセットコマンドにより解除
マスタユニット ERR LED(赤)がゆっくり点滅 RDY LED(緑)が消灯	D、Gラインが短絡していないか Dと24Vが接触していないか * 検出状態は保持しません。
マスタユニット ERR LED(赤)が速く点滅 RDY LED(緑)が消灯	本機に供給しているDC24V電源の電圧が正常か * 検出状態は保持しません。

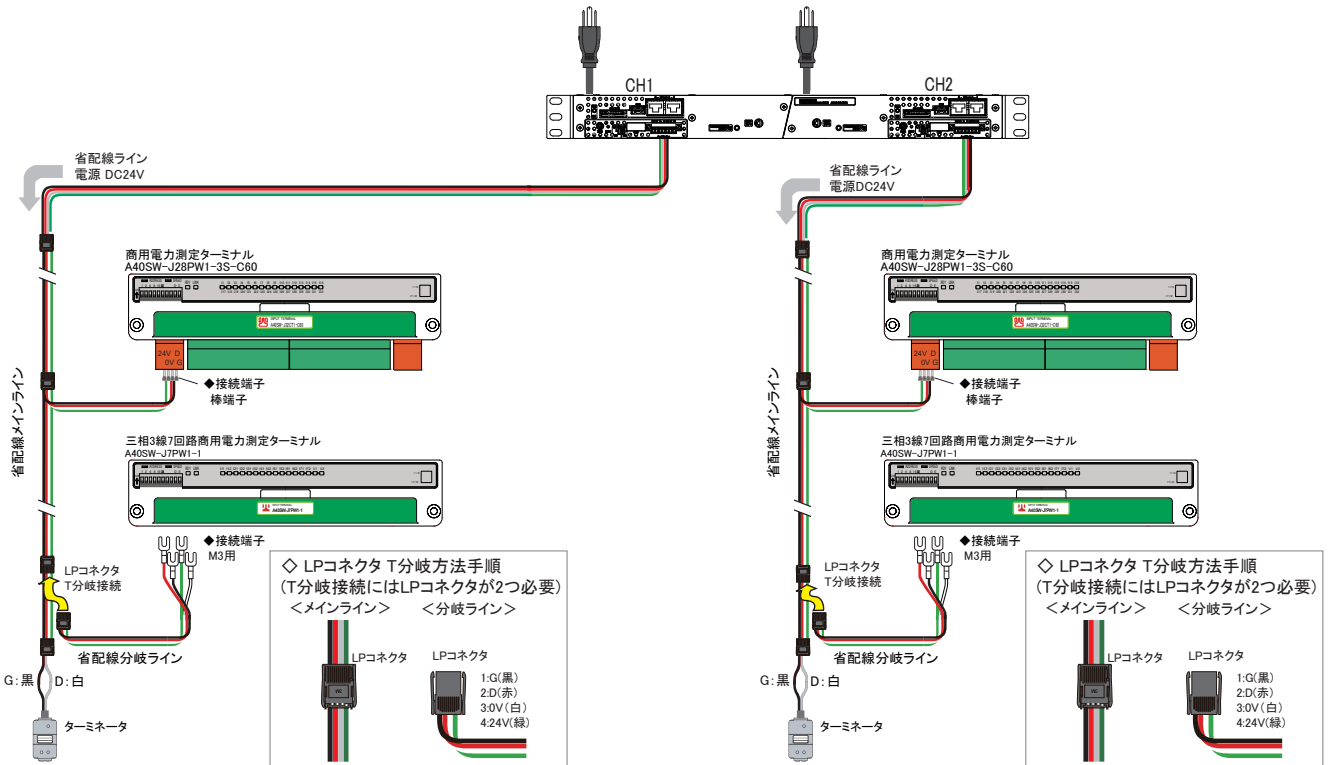
2 Ethernetラインのトラブル

まず次のことを確認してください。

- ①マスタユニットの「RDY」ランプが点灯していること。
 - ②すべてのリモートユニットの「RDY」ランプが点灯していること。
 - ③マスタユニットの「LINK」ランプが点滅していること。
 - ④すべてのリモートユニットの「LINK」ランプが点滅していること。
 - ⑤すべてのユニットの電源電圧が21.6~27.6Vの範囲にあること。
 - ⑥LANケーブル配線、接続が確実であること。
 - ⑦各設定値、アドレス設定が正確であること、重複していないこと。
- (表示部分については、1ページ「LED表示」を参照してください。)

症状	チェック項目
データの送受信ができない	PC接続されるユニット側 LAN ケーブルは、クロスとストレート仕様を間違っていないか HUB、スイッチ装置の電源が入っているか IPアドレス設定は正しいか サブネットマスクの設定は正常か ----- ゲートサーバユニット側 ゲートサーバユニットに電源が供給されているか ゲートサーバユニットのIPアドレスは正しく設定されているか ゲートサーバユニットのLANケーブルは正しく配線されているか アクセス許可ファイルの設定は正しいか プロトコル選択で使用プロトコルを排除していないか

info 1 省配線接続



info 2 省配線システム配線と各ターミナル設定について

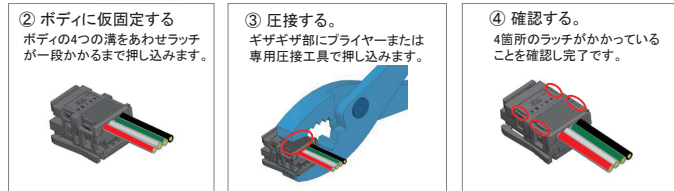
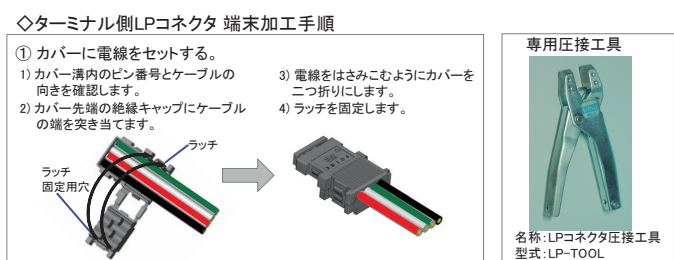
接続の前にお読みください

注意 伝送ラインのD,Gは正しく接続してください。D,Gラインは市販のキャプタイヤケーブルが使用できます。伝送ラインの最遠端にターミネータAT4を接続してください。伝送ラインは200m迄 VCTF 公称断面積0.75mm²以上、または専用フラットケーブル(FK4-075-100) VCTF 公称断面積0.75mm² 200m以上は VCTF 公称断面積 0.9mm²以上のケーブルをご使用ください。それ以外で使用した場合伝送障害の原因となる場合があります。

◇ ゲートサーバ側配線 省配線I/Fコネクタ

24V	緑	DC24V電源出力端子(十側)
0V	白	DC24V電源出力端子(一側)
D	赤	AnyWireBus DB 伝送ライン(十側)
G	黒	AnyWireBus DB 伝送ライン(一側)
24V	緑	DC24V電源出力端子(十側)
0V	白	DC24V電源出力端子(一側)
FG		フレームグランド

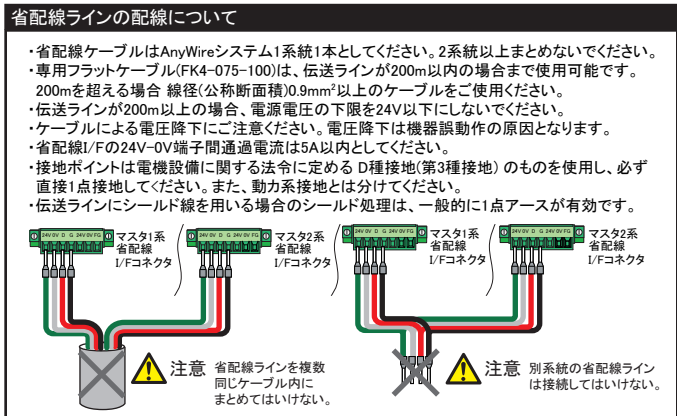
※同じ記号の端子は内部で接続されています



省配線ラインの電圧降下について

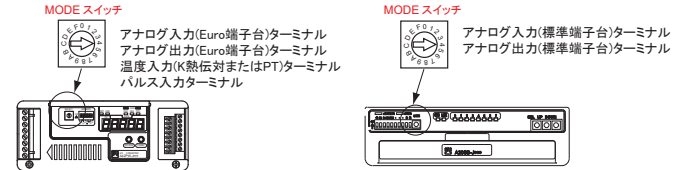
エニワイヤ機器の電源電圧は定格DC24Vです。また動作許容電圧はDC21.6~27.6Vです。以下に計算例を記載します。末端での電圧が21.6V以上になるように施工してください。

[電源の電圧降下計算例]
給電側の電源電圧:24V
総消費電流:2(A=ターミナルの消費電流の合計値)
伝送距離:20m
使用ケーブル:専用フラットケーブル
電圧降下(V) = ケーブルの長さ(m) × 導体抵抗(Ω/m) × 電流(A)
= 20 × 0.027 × 2 × 2
= 2.16(V)
給電電源電圧(24V) - 電圧降下(2.16V) = 21.84V



各種ターミナルのモード設定について

注意 エニワイヤターミナルは、ターミナル種類により、個々のモード設定(MODEスイッチ)が必要です。以下の設定表に基づき必ず設定してください。なお設定の際は必ずターミナルの電源を落としてください。



製品名称	製品型式	占有ワード数	MODEスイッチ
アナログ入力(Euro端子台)4chターミナル	A42SW-J4□	1ワード	4
アナログ入力(標準端子台)4chターミナル	A40SW-J4□	1ワード	5
アナログ入力(Euro端子台)8chターミナル	A42SW-J8□	1ワード	4
アナログ入力(標準端子台)8chターミナル	A40SW-J8□	1ワード	5
アナログ出力(Euro端子台)4chターミナル	A42PW-J4□	1ワード	4
アナログ出力(標準端子台)4chターミナル	A40PW-J4□	1ワード	4
アナログ出力(Euro端子台)8chターミナル	A42PW-J8□	1ワード	4
アナログ出力(標準端子台)8chターミナル	A40PW-J8□	1ワード	4
温度入力(K熱伝対またはPT)4chターミナル	A42SW-J4□1	1ワード	5
パルス入力4または8chターミナル	A42SW-J□PL□	2ワード	B

製品仕様

■ゲートサーバラックマウントタイプ 機器仕様

項目	仕様					
型式	AG452-G1-PS	AG452-G1-PSDX	AG452-G2-PSDX			
省配線マスタ機能	1ch		2ch			
DC電源内蔵	シングル	ダブル	ダブル			
I/O点数	全4重モードBit-Bus512点 Word-Bus2048点	全4重モードBit-Bus1024点 Word-Bus4096点				
冗長化予約I/O	なし	電源1/2フェイル	電源1/2フェイル			
冷却方式	強制ファン空冷		強制ファン空冷			
最大接続台数	128台					
伝送距離	総延長 全4重:100/200/500/1000mを選択、全2重:50/200/1000/3000mを選択					
伝送サイクルタイム	全4重モード	62.5kHz	31.3kHz	15.6kHz	7.8kHz	
	Bit-Bus	64点	0.85	1.7	3.4	6.8
		128点	1.4	2.7	5.4	10.9
		256点	2.4	4.8	9.5	19.1
		512点	4.4	8.9	17.7	35.5
	Word-Bus	IN8/OUT8word	2.5	5.0	9.9	19.8
		IN16/OUT16word	4.7	9.3	18.6	37.2
	IN32/OUT32word	9.0	18.0	36.0	72.1	
	IN64/OUT64word	17.7	35.4	70.8	141.7	
注)伝送サイクルタイムは1~2サイクルタイム間の値となります。						
誤り制御	2重照合					
異常検知RAS	伝送線断線位置検出、伝送線短絡位置検出					
伝送ケーブル	フリーケーブル 汎用2/4線ケーブル(0.75~2mm ²)					
接続方式	コネクタ:ケーブル径2.5mm ² (14AWG)最大					
同期方式	フレーム/ビット方式					
伝送クロック	7.8/15.6/31.3/62.5kHz(DB A40)					
電源定格	AC100V~240V		AC100V~240V			
消費電流	150mA(AC100V)	110mA(AC100V)	140mA(AC100V)			
	130mA(AC240V)	110mA(AC240V)	130mA(AC240V)			
標準価格	オープンブライズ					

■一般仕様

項目	仕様
使用周囲温度・湿度	0~+50℃、10~90%RH 結露なきこと
保存周囲温度・湿度	-20~+70℃、10~90%RH 結露なきこと
雰囲気	腐食性ガス 可燃性ガスなきこと
耐振動	JIS B 3502に準拠
取り付け方法	19インチEIAラックマウント

保証について

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- 1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合
 - 2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合
 - 3) 納入者以外の改造、または修理による場合
 - 4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合
- ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更

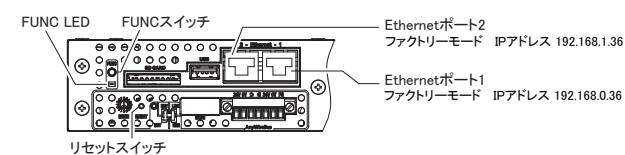
本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただきます。

本機に接続できなくなってしまうときは

本機のIPアドレスがわからなくなってしまう場合、ファクトリーモードとして立ち上げ、一時的にデフォルトのIPアドレスに戻すことができます。なお、マスタ系列ごと別々に作業してください。

◆方法

- ①「FUNC」スイッチを押したまま、リセットまたは電源を再投入
- ② 上記のままにしておくと、約60秒後に「FUNC」LEDが点滅
- ③ 一度点滅が点灯に変わりますがそのまま「FUNC」スイッチを押し続ける
- ④ さらに押し続けると「FUNC」LEDが速い点滅に変わり、この時点で「FUNC」スイッチを放す
- ⑤ IPアドレスは工場出荷状態で起動します。取り扱いには十分注意してください



連絡先

Anywire 株式会社エニワイヤ

本社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所

http://www.anywire.jp/

お問い合わせ窓口:

■テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

075-952-8077

■メールでのお問い合わせ info@anywire.jp

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。サーバやパソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

警告表示の意味

	警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	警告・注意を促す内容を示します。
	してはいけない事項(禁止事項)を示します。
	しなければならない行為を示します。

警告

- 強制** システム安全性考慮
本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。
- 強制** 交換作業の安全性考慮
交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。
- 分解禁止** 本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りする場合があります。
- 禁止** AC100/200V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
- 強制** 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
- 禁止** 電源ケーブルやセンサケーブルを傷けたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因となります。
- 強制** 濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。
- 電源プラグを抜く** 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
- 電源プラグを抜く** 本製品に液体をかけた時、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社までご相談ください。
- 強制** 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。
- 強制** ラックへの取り付けや運用の際に落としたり転倒させたり、指をはさまないようにご注意ください。
けがをする危険があります。
- 強制** 本機に対し、第三者からの不正アクセスによる情報漏えいおよび改ざんなどを防ぐため、ファイアウォールの設置などセキュリティ対策を確実に行ってください。
不正アクセスにより発生するシステムトラブル上の諸問題に対して、当社は一切その責任を負うことができません。

注意

- 強制** コネクタ接続、端子接続
コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かたり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。コネクタ内部、または端子台には金属くずやほこりなどが混入しないよう注意してください。
金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。
- 強制** 高圧線、動力線との分離
AnyWire DBシリーズは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。
- 禁止** 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
 - ・強い磁界、静電気が発生するところ
 - ・温度、湿度がマニュアルや本書が定めた使用環境を超える、または結露するところ
 - ・ほこりが多いところ、振動が発生するところ、腐食性ガスの発生するところ
 - ・直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のあるところ
 - ・漏電、漏水の危険があるところ
- 強制** 本製品の取り付け、取り外しや、お使いのシステム環境を少しでも変更するときは変更前に必ず本機内(SDカードメモリ、内部フラッシュメモリ、NVRAM等)のすべてのデータを他のメディアにバックアップしてください。
バックアップの作成を怠ったためにデータが消失・破損した場合弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 禁止** 本機にSDカードメモリを装着や取り外しを行う場合は、必ず本機の電源を切ってください。
電源を切らずにSDカードを装着または着脱した場合には、SDカードメモリと本機の故障の原因となります。
- 強制** SDカードメモリは、必ずバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
 - ・誤った使い方をしたとき
 - ・静電気や電磁的ノイズの影響を受けたとき
 - ・故障、修理などのとき
 - ・天災による破損を受けたとき
 上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データが消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 禁止** 機器に外部からのストレスが加わる様な設置や本製品の上に物を置かないでください。
故障の原因となります。
- 禁止** シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、よくしぼってから拭き取ってください。
- 禁止** 本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブルを抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失または破損する恐れがあります。
- 強制** 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。
本製品はボタン電池(OR2032)を内蔵しております。
廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
- 参考** AnyWireシステムでは、入出力情報の伝送と分岐断線検出機能が独立して動作します。
入出力情報は、接続、設定が正しく行われた段階より動作を開始します。
分岐断線機能は、アドレス自動認識操作完了後に有効となります。